

PRIMERGY RX100 S7 (2012 年 5 月発表モデル) 使用上の留意・注意事項

PRIMERGY RX100 S7 (2012 年 5 月発表モデル(*1))に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

(*1): 対象型名は下記 URL を参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/product-navi/>

2015 年 9 月
富士通株式会社

1. UEFI モードでの OS インストールに失敗する場合があります

BIOS 設定の [Boot] メニュー - [UEFI Boot] を “Enabled” に設定して OS インストールを行うと、インストールに失敗する場合があります。この事象は “Disabled” (工場出荷時設定) では発生致しません。

なお、本設定における “Enabled” 設定はご使用になれません。

2. Intel TXT 機能について

本装置では Intel TXT 機能 (*2) はご使用になれません。

(*2): Intel TXT 機能 (インテル®トラステッド・エグゼキューション・テクノロジー)

3. Onboard LAN 使用時の留意事項

Standard LAN では、WOL / PXE / i-SCSI boot は未サポートです。

Shared LAN では、iSCSI boot の使用はできません。

4. オンボード VGA に関する留意事項

Red Hat Enterprise Linux 6 ご使用時、オンボード VGA において下記に示す解像度はご使用頂けません。

- 1400x1050

- 1600x1200

5. AVR (Advanced Video Redirection) 機能ご使用時の制限事項

リモートマネジメントコントローラアップグレードオプション (PY*RMC31) ご使用の際、サーバの電源投入後に AVR 接続をした場合、BIOS セットアップメニューで AVR のグラフィカルキーボード (仮想キーボード) が使用できなくなる場合があります。AVR を使用し BIOS セットアップメニューをご使用の際は、サーバの電源投入前に AVR 接続を行ってください。

6. OS インストール時における制限事項

サーバへ LAN ケーブルを接続していない状態、且つ Windows server 2008 / R2 のインストール DVD を使用して OS のインストールを行った際、サーバのシステムイベントログに下記のエラーが大量に記録される場合があります。OS のインストールを行う際は SVS(ServerViewSuite) DVD をご使用になるか、LAN ケーブルを装置に接続してご使用ください。

- PCI: Advisory Non-fatal Bus: X Device: 0xXX Function: 0xXX

- Legacy PCI SERR Bus: X Device: 0xXX Function: 0xXX

7. LAN カード(PY-LA101) ご使用にあたっての注意事項

LAN カード(PY-LA101)ご使用にあたっては、本 LAN カードに対応した、BIOS の適用が必要となります。適用条件は以下となりますので、ご確認のうえ、ご使用の程お願い致します。

PRIMERGY RX100 S7: BIOS 版数 1.10.0 以降

最新の BIOS は、以下の弊社ホームページに公開しています。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/bios/>

8. ネットワークカード / システムボード交換に伴う設定情報の再設定について

Windows Server 2008, Windows Server 2008 R2 を御使用の場合、ネットワークカード、またはシステムボードの交換、待機系装置への切替え、他装置へのリストア等を行うと、ネットワークコントローラを新規追加部品と装置が認識するため、ネットワーク関連の設定情報(IP アドレス / Teaming 設定など)が初期化され、再設定が必要となります。

マイクロソフト社の以下の KB(Knowledge Base)を参照の上、事前に Hotfix を適用することで再設定を回避可能ですので、適用をお願い致します。

Windows Server 2008(SP2): KB2710558(Hotfix 適用後、レジストリ変更が必要)

Windows Server 2008 R2: KB2344941 , KB976042 (SP1 適用時は、再度 Hotfix 適用が必要)

Windows Server 2008 R2(SP1): KB2550978 , KB976042

※ Hotfix 適用にあたっての注意事項

・Hotfix はマイクロソフト社のサポートページから入手してください。

2012 年 12 月時点では、以下の URL から検索可能です。

<http://support.microsoft.com/>

・Hotfix は、OS インストール時に搭載されていた部品情報を有効にするものです。

OS インストール後にシステムボード等を交換していた場合、OS インストール作業時の情報となります。

・Windows 2008 (SP 無)、Windows 2008 +SP1 用の Hotfix は公開されていません。

SP2 適用後に Hotfix を適用願います。

また、既にネットワーク関連の設定情報が初期化された場合も、Hotfix 適用により回復できる場合がありますので、この場合も適用をお願いします。

なお、Hotfix 適用によって回復しない場合は、ネットワーク関連情報の再設定が必要となります。この際、ハード変更前の LAN コントローラの情報が残っているため、変更前に使用していたネットワーク接続名を設定することができません。以前使用していたネットワーク接続名を使用する必要がある場合は、以下の作業後にネットワーク関連情報を再設定してください。

(1) デバイスマネージャを起動します。

コマンドプロンプトを開き、以下を実行してください。

```
set devmgr_show_nonpresent_devices=1  
start devmgmt.msc
```

(2) 非表示デバイスを表示可能にします。

デバイス マネージャーで [表示] メニューの [非表示のデバイスの表示] をクリックしてください。

(3) コンピューターに接続されていない LAN コントローラを削除します。

色が薄く表示されている「ネットワークアダプタ」を削除してください。

9. Windows OS におけるスリープ状態について

本装置では、Windows OS における [スタート] - [コントロールパネル] - [電源オプション] から「コンピュータをスリープ状態にする」の設定がご使用になれません。

10. USB デバイスの認識について

BIOS 設定の [Advanced] メニュー - [USB Configuration] - [USB Port Security] - [USB Port Control] を "Enable rear and internal ports" に設定した場合、下記のケースにおいて USB デバイスを認識しなくなる場合があります。

- ・電源投入前に USB デバイスを接続せず、OS 起動後に接続する。
- ・OS 起動後、USB デバイスを別の背面 USB ポートに挿し換える。

※ BIOS 設定を "Enable front and internal ports" に設定した場合は、前面 USB ポートについて同様の事象が発生します。

USB デバイスを認識させるには、電源投入前に USB デバイスを接続するか、OS を一度再起動してください。

11. ServerView Suite Installation Manager での Windows Server 2012 R2 のインストールについて

ServerView Suite DVD 11.13.10 の、ServerView Suite Installation Manager では、オンボード RAID 環境へのインストールは出来ません。詳細は下記 URL の「Windows Server 2012 R2 動作確認情報」をご確認ください。

<http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/windows/support/2012-r2/>

12. Java 8 update 45(8u45)でのビデオリダイレクション (AVR) 機能の留意について

※本事象は Java 8 update 51(8u51)以降の版数では発生いたしません。

Java 8 update 45 (2015 年 4 月 14 日公開)を適用した管理端末でビデオリダイレクションを起動する場合、プロキシサーバを使用する環境において、以下のメッセージを表示して本機能が動作しないことがあります。



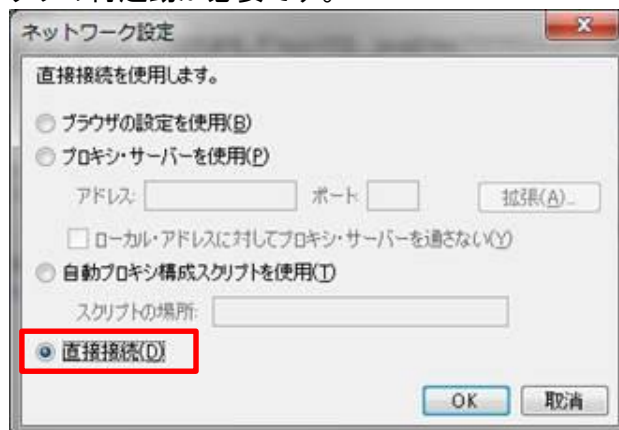
本事象は、以下のいずれかの方法で回避可能です。

- ① ビデオリダイレクションを起動する管理端末でプロキシサーバを利用しない設定にする。
- ② プロキシサーバの設定で java.com へのアクセスを許可する。
注) 上記①②、設定をするに当たり、お客様ネットワーク管理者に確認ください。

なお、本事象は Java 8 update 40(8u40)以前の Java 版数では発生いたしません。

< 回避策①における管理端末の Java のネットワーク設定例 >

- (1) [スタート]メニューから [すべてのプログラム] → [Java] を選択します。
- (2) [Java の構成] をクリックして、[Java コントロール・パネル] ウィンドウを開きます。
- (3) [一般] タブを選択し、[ネットワーク設定] ボタンをクリックします。
- (4) [直接接続(D)] を選択し、[OK] ボタンを押下。設定を保存し、終了してください。なお、設定変更後は WEB ブラウザの再起動が必要です。



13. PCI スロット 2 ご使用にあたっての注意事項

PCI スロット 2 は1レーン仕様です。高速なカードを搭載する場合、十分に性能を発揮できない可能性がありますので、ご注意ください。

—以上—